

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	構造設計小委員会		主 査 名：佐々木睦朗 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森博司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・近年の我が国における空間構造の発展はめざましく、1990年以降にその傾向は顕著である。この要因は、統合する構造設計者の設計技術によるものが大である。この空間構造の構造設計技術を正しく継承し、発展させることを目的として本構造設計小委員会を設置するものとし、その主旨に従って各年度の活動計画を順次たてるものとする。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし 佐々木睦朗(主査、法政大学) 植木隆司(幹事、巴コーポレーション) アランパーデン(関東学院大学) 河端昌也(横浜国大) 今川憲英(東京電気大学) 大崎純(京都大学) 岡田章(日本大学) 金箱温春(金箱構造設計事務所) 川口健一(東京大学) 川口衛(川口衛構造設計事務所) 斎藤公男(日本大学) 竹内徹(東京工業大学) 坪井善昭(東京芸術大学) 望月利男(太陽工業) 諸岡繁洋(東海大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2007 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	近年の空間構造の技術レビューに向けて、前年度に引き続いて今年度は技術報告会(計6回)を開催し、順次該当資料を収集中である。
委員会活動の問題点・課題	委員会活動の中心である技術報告会において、その出席委員数が過半数に満たない場合もあり、次年度は出席率の著しく悪い委員については入れ替えをする必要がある。